

TK通信（1月号）

January/29/2024/ VOL 018

【How would you like to be remembered ?】

アメリカの大学の入学試験で“What do you want to do in this university?（この大学で何がしたい？）”という質問に「～について勉強したい。」「～の先生の授業を受けたい」と答えると100%不合格になるそうです。近年、日本でも総合型選抜という、一般受験以外の形で入学する生徒の割合が増えています。面接試験等も多くありますが、そういったシーンでおそらくこのような質問をされることとなります。学びたい学問があるのは皆同じなんですよね。それよりも、学んだ上で、卒業後にどのような人間になりたいのか、どのような形で社会貢献したり、社会課題の解決へと向かうのかを自分の中に持っているかどうかを大学は知りたいわけです。そして、さらにその生徒が入学し、大学を卒業した後社会で活躍していくことにより、大学の価値がどんどん高まっていくことを期待しています。この生徒が入学すれば、きっとうちの大学の価値や評判を今以上に高めてくれるはず！と大学が確信するからこそ、入学を認めてもらえるわけですよね。1、2年生のみなさんも、この視点はぜひ持っておいってください。大学に限らず、短期大学、専門学校、公務員、一般企業、どの進路を歩むにせよ、共通しています。

さて、さらに違う視点で考えてみましょう。アメリカのケンブリッジ大学の入試で問われる質問である“How would you like to be remembered?（どのような人として思い出してもらいたい？）”という質問が、人の行動指針としてとても重要な視点ではないかと考えています。自分視点で、好きなこと、興味があること、やってみようことがあることが重要であることは前提として、その上で、どのような人として記憶してもらいたいのか、周囲の人たちの心にどのように残っていきたいかということ、他者視点で考えた上で行動選択することになるからです。自然と、他者のため、大切な人たちのため、自分が所属する社会のためという視点が備わっていきます。いわゆる「利他の心」と言われるものではないかと思いますが、利己的に考えるよりも、利他的に考えることで、自分の行動はより意味のあるものになると思います。

1月16日（火）23時39分、本校の事務職員であり野球部監督である森下知幸先生が急逝されました。平成28年から7年半もの間、本校事務員として勤務する傍ら、野球部の監督として熱い日々を過ごされました。私も平成28年度4月から本校に赴任したので、ほぼ同期ということになります。森下監督とともに過ごした野球部の日々は私にとってかけがえのない宝物です。とにかく生徒が大好きな森下先生。練習中だけでなく、生徒たちとの会話を何よりも大切に、生徒と一緒に過ごす時を誰よりも楽しんでいました。強くなることよりも、野球をすることを楽しんでほしい、好きになってほしいという思いが生徒たちにも伝わっていき、生徒たちは少しずつ変化していきました。それまで声の聞こえなかったグラウンドが、いつの間にか活気に満ち、生徒たちのイキイキとした明るい表情で溢れるようになりました。「森下マジック」という言葉がありますが、そのマジックのタネは「好きになってもらうこと」というとてもシンプルなものだったのです。

森下先生との出会いは多くの人に大きな影響を与えることとなりました。野球部の生徒たちだけでなく、その他の多くの生徒たち、そして本校の教職員も森下先生の気さくな人柄に惹かれ、笑顔の絶えない日々を送ることができました。私もその一人です。森下先生と過ごしながら、考え方を学び、視野が広がり、多くの方々との出会い、私は大きく変わっていきました。中でも大きかったのは、生徒との関わり方の変化です。生徒は指導するもの、高校野球はこうあるべきだという固定観念は根本から崩れ、生徒を好きになること、生徒と過ごす時を楽しむことを大切にすることを第一に考えるようになりました。森下先生がよく言っていた「人は出会い」という言葉のとおり、私は森下先生と出会い、かけがえのない日々と大切なものをいただきました。これからその大切なギフトを、多くの方に贈れるような人になっていきたいと思っています。

“How would you like to be remembered?” あなたならどう答えますか。そしてそうなるためにはどんな風に日々を生きていきますか。この問いへの答えが、あなた自身なのだと思います。

KICへ1年留学&3ヶ月留学に出発

1月28日(日) オーストラリアにある本校の系列校Kardinia International Collegeに向けて、1年留学2名、3ヶ月留学3名、合計5名の生徒が出発しました。オーストラリアは現在真夏ということで、日本とは真逆の気候となりますが、体調に気をつけながら、ぜひ充実した時を過ごしてもらいたと思います。

5名の生徒たちには、富士山GOGOエフエムで放送中の「御殿場西高校の夢ラジオ」にも出演してもらい、留学に向けた思いを語っていただきました。留学への不安等もたくさんあると思いますが、きっと新しい発見や体験の数々で、刺激的な時を過ごしてくれると思います。

それぞれ将来の目標等は違いますが、やはり海外でしかできない体験、出会い等への期待、英語学習へのモチベーションの高さが共通しています。そして、この留学を一番の目的として御殿場西高校を選んでくれた生徒の皆さんでもあります。だからこそ、1日1日を大切に過ごしながら、オーストラリアの地でしかできないこと、現地でしかできない出会い、日本との比較、日本を客観的に見るという新しい視点の獲得などにつなげてもらいたと思います。



村木風舞 全国の舞台で快走

1月21日(日) 第29回全国都道府県対抗男子駅伝が広島市の平和記念公園前をスタート&ゴール地点として開催されました。静岡県代表の高校生区間の1区(7キロ)に、本校の村木くんが出場しました。全国での舞台は今回が初めてでしたが堂々とした走りを見せてくれました。個人としては33位、静岡県としては全体の24位となりました。全国の舞台を経験できたことが大きな財産となりました。村木くんは箱根駅伝で3位となった城西大学への進学が決定しており、更なる大舞台での活躍が期待されています。これからも応援よろしくお願いします!

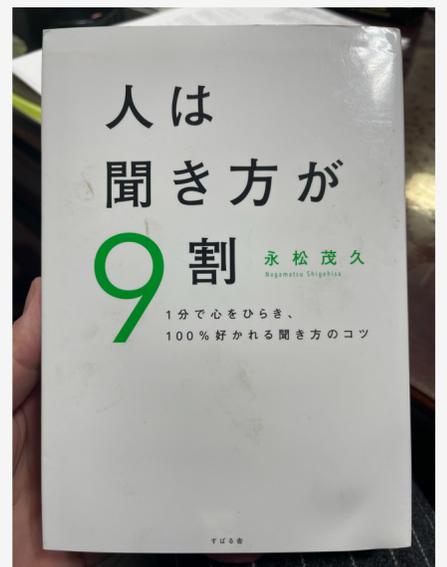


オススメ『人は聞き方が9割』

最近すっかりオススメしておりませんでした。再開したいと思います。読書は絶対に自分にプラスですからね!

さて、今月紹介するのは『人は聞き方が9割』(永松茂久著)です。コミュニケーションが大切とはよく言いますが、ペラペラと饒舌に話すことはコミュニケーションとは言いません。相手と情報や思いを伝達し共有することがコミュニケーションです。その際に重要なのは話す力よりも、むしろ聞く力です。

この本には、なぜ聞く力が必要なのか、そして具体的にどのようなスキルが聞く力なのかを、本当にわかりやすく書いてくれてあります。中高生でも読みやすい内容となっているので、ぜひ一読ください。聞く力を高めて、生徒も先生も、いい対話ができる学校になろう!



保護者の皆様へ

いつも本校の教育活動にご理解をいただき、さまざまな形でご協力をいただき、誠にありがとうございます。2024年も何卒よろしくお願いいたします。今、御殿場西高校では、これまでおこなってきた教育の再定義をおこなっており、「居場所と出番を創り続ける学校」というビジョンを新たに掲げているところです。これまでに大切にしてきた生徒の居場所づくり、そして生徒一人ひとりの好きや得意をとことん磨き、発揮できる出番をこれからも創り続けていきます。変化し続ける社会の中を生き、不安定で見えづらい未来が待っていたとしても、いろんなことにチャレンジしながら幸せに生きていく力を身につけられる学校として、これからも日々教育アップデートをおこなっていきたいと思っています。そして、生徒と保護者、卒業生、地域の皆さんとともに、さらに魅力のある素敵な学校を作っていきたいと思っています。

